



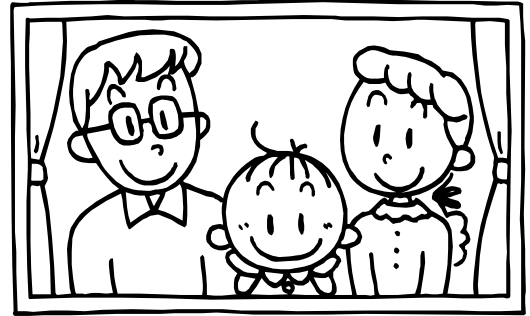
2026.6.16

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

初めての保育参観

新しい学年やクラスになって、初めての保育参観でした。台風の影響で1週間遅れになってしまった方もみえました。ご協力ありがとうございました。皆様、お忙しい中お出かけくださりましてご協力に心より感謝です。

お子様の様子はいかがだったでしょうか。そのパターンは様々で、少しは気にしながらも普段と全く変わらない子、緊張でドキドキしてしまう子、見てもらえることがうれしすぎてちょっと調子に乗ってしまう子、等々。いつもの様子をご覧



いただくとう開催する保育参観ですが、そうならない場面も多々あります。でも保護者の皆様に、幼稚園で頑張っているお子さんの姿を少しでも見ていただければ、不安がなくなり安心して送り出していただけたらと思う、この時期に保育参観を行います。ご理解をお願い申し上げます。

ここ数年、お父様の参加も増えて、良い環境の中でお子様が育まれているのかなとうれしく思います。子育ては大変で、どうしてもお母様の負担が大きくなりがちです。ここ最近は男性の育児休業の取得率も上がってきて、職場によっては男子の育児休暇取得を率先して薦める企業もあると伺いました。そうやって子育ての大変さをパパもママも理解できていけば、お互いにフォローしたりやさしくいたわったりして、家族みんなが笑顔になりますよね。パパママが仲良くして、いつもうれしい顔を見せることが、子育てに一番重要なことなんです。笑顔いっぱいの家庭が増えることを願っています。

さて、もうすぐ「父の日」ですね。「母の日」と比べると、少し影が薄いような気がしますが、お父さんへのプレゼントを、心を込めて一生懸命作りました。お誕生会でいつもお話します。「みんなはママのお腹から生まれてきたけど、パパもいないと生まれてきません。命はつながっているからね。」どのご家庭も楽しい父の日になりますように！

日本人の幸福度は？

先日、こんな放送を目にしました。「日本人の幸福度はなぜ低いのか？」というテーマで、ウエルビーイング学会代表理事の前野隆司氏が話されており、それによると日本は安全な暮らしで、経済的にも極端な貧困はなく、制度的な条件が揃っているのに、幸福度が低いと言われているそうです。147カ国中61位で、G7の中では最下位です。

その原因が『①社会的なつながりの弱さ（友人や隣人との関りが減少） ②主観的評価の低さ（自分への肯定感が低い、自信が無い） ③自由度の実感の低さ（型にはまりすぎている）』だそうです。ちなみに世界第1位はフィンランドで、9年連続でトップとなっており、手厚い福祉や豊かな自然環境が整っている北欧諸国が上位を占めているとの結果でした。

ではどのように改善するのか。前野氏は次のように述べています。『①人と人とのつながりを取り戻す ②前向きで自分らしい認知能力を育てること ③あまり型にはまらず自由にやってみること』で、「ありありなんやっ」がキーワードだそうです。「ありのまま ありがとう なんとかなる やってみよう」



『①ありのまま（独立と自分らしさ） ②ありがとう（つながりと感謝） ③なんとかなる（前向きと楽観） ④やってみよう（自己実現と成長）』この4つを実践することが、幸福度を高めることにつながると前野氏は言っています。

視野の広い人は幸せ、利他心がある人は幸せ、競争するのではなく共に幸せになることを目的として動くことが、日本人の幸福度を高めていくことになるかと画面から訴えてみえました。日本人は真面目過ぎるのでしょうか。もっと楽天的に物事を考えた方が良いのかもしれないね。